

『薬物治療塾』第1期(後期)薬物治療評価(C-2)コース 修了課題

問1. 以下の空欄を埋めなさい。

- ファーマシューティカルケアの定義において重要なキーワードは()、()、()の3点である。薬剤師は常にこれらを意識した薬物治療を提供すべきである。
- 薬剤師が臨床力を高め、真に薬物治療に貢献するためには、単に服薬指導を積み重ねるだけでは不十分である。()や()、()のような薬物治療評価に必要な基礎力を養ったうえで、薬学的問題を抱えた実際の患者の問題解決に応用し、評価・考察した経験の積み重ねが必要である。そのためには医学英語に慣れておくことも重要である。また、患者インタビューを通じて必要な情報を的確に得るための()も必要であることは言うまでもない。

問2. 薬物治療評価の一連の流れにおける各ステップにおいて、薬剤師にどのような視点・スキルが求められているか、それぞれ挙げなさい。(裏面利用可)

患者情報の収集：

問題リストの作成：

薬物治療評価：

薬物治療モニタリング：

問3. 1. 感染症治療において、抗菌薬を使用する際に考慮すべき（治療効果や副作用の発現などに影響し得る）患者側・病原体側・抗菌薬側の要因について、それぞれ3つずつ挙げよ。

患者：

病原体：

抗菌薬：

問4. 呼吸器感染症（特に肺炎）患者において治療効果の判定を行う上で、臨床上重要な自覚症状と他覚的所見について思いつく限り挙げよ。

自覚症状：

他覚的所見：

氏名： _____